



# 福島ぽかぽかプロジェクト 年末寄付のお願い

目標額 200万円

認定 NPO 法人のため、  
ご寄付は寄付金控除の対象になります。



「福島ぽかぽかプロジェクト」は、FoE Japan が実施している福島県のおやこのための保養プログラムです。原発事故から 12 年半が過ぎました。福島では「復興、復興」と何事もなかったような報道が続きます。「もう、外で遊べるのだから保養など必要ないのでは?」「保養を必要としている人は、精神的な問題だ。」と考える人もいます。でも、3.11 に大きなショックを受けた人たちは、傷が癒えたわけでも、不安がなくなったわけでもありません。空間線量は下がっても土壌の汚染はさほど下がりませんし、ホットスポットもまだまだたくさんあります。年に何日かは放射線量の低い土地で、安心して食事をし、思いっきり外遊びをしたい。そう思っている福島に暮らし続ける方々、子育てをしている方々、そして子どもたちを応援していくことが重要だと思っています。「福島ぽかぽかプロジェクト」はまだまだ必要とされています。今年度も参加希望が多く、一部お断りしている状況です。日本でも世界でも、様々な災害や戦争が起こり、寄付が集まりにくく、大変苦しい経済状況が続いています。活動を継続していくために、みなさまの温かいご寄付をお待ちしています。

福島ぽかぽかプロジェクト 2022 年度実績 収入約 700 万円、支出約 850 万円

### ■郵便振替

00130-2-68026

FoE Japan

郵便局備付の払込取扱票をお使いください。通信欄に「ぽかぽかプロジェクトへの寄付」とご明記のうえ、住所、氏名をお忘れなくご記入ください。

### ■銀行振込

城南信用金庫 高円寺支店

普通358434

エフ・オー・イー・ジャパン

送金後、確認のため、電話またはメールでご連絡ください。

### ■クレジットカード

以下の web サイトをご覧ください。



<https://foejapan.org/get-involved/>

## 「福島ぽかぽかプロジェクト」12 年目の試み（目指すこと!）

- 1 猪苗代で、幅広い年齢の子どもたちや親が交流し、様々なアクティビティーに取り組みます。（年 10 回予定）
- 2 お母さんお父さんと一緒に、子どもたちに原発事故をどう伝えていくのかを考えます。
- 3 原発事故後、心身に不安を抱える人たちに寄り添います。
- 4 中高生とその親たちと水俣・長崎学習旅行\*に取り組みます。  
\*水俣・長崎を訪れ、その地に起きたことを知り、経験者の話を聞き、今、そこに住んでいる人たちと交流する学習旅行です。
- 5 双葉郡に新たに移住したおやこを対象にしたぽかぽかプロジェクトに取り組みます。

### 参加者の声

「汚染水の海洋放出は本当に大丈夫なのか。除去できなかったトリチウムは人体に影響がないのか、とても不安です。今でもガラスバッチで外部被ばくを計測し、ホールボディカウンターで内部被ばくを検査し、甲状腺検査を定期的に受けています。放射線量の少ない場所でリフレッシュする保養は福島子どもたちには必要です。」

「震災後福島海から基準値超えの汚染された魚が発見され、海の近くで生まれ育った私は子どもたちに釣りや海水浴等楽しい遊びをさせてあげられませんでした。やっと 12 年たった今、また住民の意見も届かず汚染水を放出されてしまいました。これから先、海の生き物にどのような影響が出るのか？ ますます食に気をつけて生活をしなければいけません。母として子どもたちを守りたい思いを話せる場として福島にはぽかぽか保養があります。安全な食材を提供していただけて、子どもたちものびのびと過ごす事が出来ます。制限された生活の中で当たり前で過ごしてきた子どもたちと私たちの居場所として、これからも保養の継続を望みます。」

## 福島ぽかぽかプロジェクトお問合せ

〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9 FoE Japan 担当：矢野

TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986 / E-mail: [info@foejapan.org](mailto:info@foejapan.org) / <https://ameblo.jp/pokapro/>